



市政に対する 一般質問

ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。
二次元バーコードを読み取ってご覧ください。
※通信料がかかる場合があります。



すずき
鈴木

よしかず
賢和 議員



デフリンピック支援と
共生社会の推進

問 デフリンピック認
知度向上のための広
報・啓発活動は。

答 静岡県が作成した
パンフレットを活用
し、庁舎各課窓口や、さわ
やかアリーナなどにおいて
啓発を行っている。今後、
ホームページや広報ふくろ
いなどでPRしていきたい。

問 障がいの有無にか
かわらず暮らしやす
いまちづくりを目指すた
めの情報バリアフリー施策は。

答 福祉サービスを網
羅した「障がいの者福
祉のしおり」を作成し、ホ
ームページへの掲載を通じ
て制度の周知に努めている。
また、視覚障がいの者の方
を対象とした「声の広報」、
聴覚障がいの者の方を対象と
した手話通訳者・要約筆記
者の派遣などを行っている。



2025年開催デフリンピック

庁舎窓口への軟骨伝導
イヤホン導入検討

問 他市における軟骨
伝導イヤホンの導入
に係る効果と本市の導入に
対する見解は。

答 軟骨伝導イヤホン
や他市で導入した会
話を文字起こしするアプリ
などデジタル技術の活用も
考えられる。先進市でのさ
まざまな取組や導入効果な
どを参考にできることから
取り入れていきたい。



たかぎ
高木

きよたか
清隆 議員



まちなか(袋井駅北側)
再生に向けては

問 まちなか再生の意
義とは。

答 土地区画整理事業
により、道路や公園
などの基盤が整備されてい
ることから、公共空間の有
効活用により、エリアの価
値を高めるなどして、再生
していくことが重要と考え
ている。

問 まちなか再生の視
点とは。

答 「フクロイエキマ
チフェスタ」など、
駅周辺の賑わい創出を継続
的に根付かせていく取組を
重ねることにより、南北の
来客者の回遊の楽しさを醸
成し、袋井駅の南北を一体
のエリアとしてプロモーシ
ョンすることで、魅力的な
地域づくりを進め、新たな
視点として定住人口の増加
に向けた施策を検討するな
どとして、「まちなか再生」
へつなげていきたい。



袋井駅から北側の風景

目指すべき「まちなか」
の姿とは。

問 目指すべき「まちな
か」の姿とは。

答 市民の誰もが笑顔
で、このまちに誇り
を持ち、これからも住み続
けたいと実感でき、互いの
夢や希望を叶え、明るい未
来を切り開くチャレンジが
できる「スマイルシティふ
くろい」の実現を目指し、
総合計画の策定過程におい
て整理していきたい。

袋井市森町議会議員研修会 (令和6年8月1日)

森町役場において、中央法律事務所の永野海氏を講師にお招きし、「能登半島地震に学ぶ災害時の行政と議員の役割」を演題に、袋井市及び森町の議員が合同による研修会を実施しました。



袋井市議会議員研修会 (令和6年7月2日)

袋井市役所において、株式会社廣瀬行政研究所の廣瀬和彦氏を講師にお招きし、「適正な議員定数の算定手法を考える」を演題に、研修会を実施しました。

